

尚美学園大学 作曲/創作コース

作曲特別講座

木村まり氏 特別講座

2016年10月7日(金) パストラルホール

第1部 16:20~17:20 自作についてのレクチャー

第2部 17:30~18:30 コンサート

木村まりさんは、ニューヨーク在住のヴァイオリニストで、数多くの作曲家の初演に多く携わってこられました。また自らも、作曲家として、さらに研究者としても第一線で活躍されています。

第1部では、その独自の活動について、レクチャーしていただきます。

第2部では、実際に作品の演奏を予定しています。

~~*~*~*~*~*~*

コース、学部、学科を問わず、外部からのお客様も歓迎いたします。皆様お誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。



木村まり ヴァイオリニスト・作曲家

3歳よりピアノを、5歳よりヴァイオリンをはじめる。桐朋学園で江藤俊哉氏に師事。ジュリアード音楽院博士号を取得、今までに20カ国以上に招待演奏。NYタイムズ紙に「洞目すべきデビュー、時代の先端を弾く巨匠」と絶賛され、大きな注目を集めた。日本でも、岩城宏之、秋山和義他指揮で東京交響楽団、東京フィル他とソリストとして共演。2007年にはジャンクロード・リセのバイオリン・コンチェルトを世界初演。

調弦を変えずにG線より1オクターブ下の音を弾くサブハーモニクスを披露、作曲家の一柳慧氏より「大型ヴァイオリニストの誕生」と絶賛される。アメリカ音楽学会など科学界でも大きな反響を呼ぶ。アメリカ現代音楽協会賞、中島健臓音楽賞、NY州芸術評議会助成金、パリの国立音楽・音響研究所IRCAMレジデント作曲家、2010年にはグッゲンハイム財団フェロー受賞、ハーバード大学よりフロム委嘱受賞など受賞歴多数。

カーネギー財団に2011年度「アメリカの誇る45人の外国人」唯一の日本人として選ばれる。1998年よりジュリアード音楽院でインタラクティブコンピューター音楽演奏の講師。2007年自作・委嘱作アルバム「ポリトピア」、2010年自作品集アルバム「G線下の世界」を発売、大きな反響を呼んでいる。2013年よりAtlantic Music Festivalサマー音楽祭の“Future Music Lab”プログラムの監督に就任。